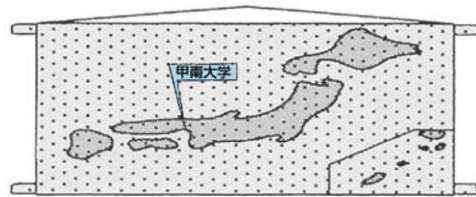


# Zephyr

第46号

ゼフィール・にしかぜ


<http://www.kilc.konan-u.ac.jp>

## 《特集＊外国語がうまくなるために》

所長からのメッセージ 大学4年間で800時間かけて、外国語をマスターしよう .....	胡 金定.....	1
〔英 語〕英語がうまくなるためには.....	津田 信男.....	2
〔ドイ ツ 語〕ドイツ語能力向上に向けてのアドバイス.....	柳原 初樹.....	3
〔フランス語〕フランス語上達のために - 自律学習のすすめ - .....	ディディエ・シッシュ.....	4
〔中 国 語〕きっちり覚えて大胆に話す 中国語力向上のために .....	石井 康一.....	5
〔韓 国 語〕韓国語の効果的学習を目指す学習者へ.....	金 泰虎.....	7
〔日 本 語〕留学生の先輩に学ぶ 外国語(日本語)を上達させる方法.....	森川 結花.....	8

## 大学4年間で800時間かけて、外国語をマスターしよう

国際言語文化センター所長 胡 金定

「外国語をマスターするにはどうすればよいか」という質問に、しばしば答えられなくなって困ることがあります。国際言語文化センターの教員たちはセンター設立当初から、この問題について解決策を探っていますが未だ秘訣というものが見つかりません。カリキュラム編成や教授法などを研究し、より良い指導法で学生の学習効果を上げることを考え続けています。短期間でより簡単に習得したいと望む学生と、少しでも学習効果や効率を上げようと励む教育者。立場は違いますが、学生たちの“外国語習得”という目的は同じです。

外国語をマスターするためには時間の確保と継続性が必要です。ある程度の時間をかけなければ身につけるのは困難です。まず、時間の確保が先決条件です。外国語という“技能”を習得するには、約1千時間必要とされています。学生生活の4年間で、外国語に割ける授業時間は800時間。この限られた時間を有効に使い、確実に技能を高められるよう徹底的に研究したカリキュラムを用意しています。その内容は次の通りです。

まず1年生は基礎英語と第2外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語のうち1つを選択して履修)の必修科目があり、それぞれ週に2コマずつの授業を設けています。1コマ90分で週3時間、1年間で30回・90時間となります。2年生では「国際言語文化科目」を履修すれば、週に4科目・4コマの中級外国語科目の授業を受けることができます。4科目で年間180時間の計算になります。3年生でさらに2科目・2コマの中級外国語科目を履修すれば90時間、4年生で引き続き2科目・2コマの上級外国語科目を履修すれば90時間となります。ここまでで、4年間の合計は450時間。また、夏休みなどの海外語学講座に参加すれば、海外の協定校で外国語の授業を65時間以上受けられます。同講座は授業以外も外国語を使って1ヶ月以上生活するので、かなりの外国語学習時間を確保することができます。以上のように、授業だけで515時間を軽くクリアしています。

しかし、授業に出るだけで習得することは不可能です。予習復習を欠かさず、自分のものにしようという姿勢で授業に臨む必要があります。さらに、残る285時間をどう確保し、有意義に使っていくかがポイントになります。最も大切なことは、“継続”すること。常に外国語に触れられる環境をつくり、何時でも楽しく外国語と付き合っていけるように工夫することが重要です。私の経験から言っても、最初の段階は確かに苦しいものですが、それを乗り越えてこそ初めて楽しい世界が開けます。誤解を恐れずに言えば、「積極性よりも継続性」という気持ちで、自分なりの勉強法を見出してください。

「外国語学習の悩み」を抱えている学生は少なくありません。国際言語文化センターが設けている「外国語学習相談アワー」を大いに利用し、大学4年間で是非とも外国語をマスターしていきましょう。

## 英語がうまくなるためには

国際言語文化センター教授 津田 信 男

「先生、どうしたら英語がうまくなりますか」という質問をよく受けます。一言で言うならば、私は、『目標を持ち、実行する』ことだと思います。

まず、『目標を持つ』とは自分に合った目標を立てることです。例えば「来年TOEICで600点を取る」、「iBT TOEFLで61点を取る」、「留学する」などです。更に、その後の目標も決めておいた方がよいでしょう。私が、アメリカの大学に留学していた頃、ある日本人の留学生に会いました。彼は、その大学の語学学校に留学するのが目標でした。アメリカに来ることでその目標を達成できたわけです。しかし、彼は次の目標が決まっていなかったため、それから何をすべきか分からず、勉強に対する意欲をなくしていました。このように、はっきりした目標を持っていないと、英語学習は長続きしません。

次に、『実行する』とは目標を達成するために時間を費やし、努力することです。当然のことながら、日本で生活していると周りは全て日本語のため、よほど意識して英語の環境を作らないと上達しません。そこで下記の勉強法をお勧めします。この中で自分に合ったものを活用してください。

### 1. リーディング

文法・単語を勉強するより、リーディング(多読)をした方が効果的です。例えば、“rotten apple”(腐ったりんご)と言いますが、“rotten milk”という表現はなく、“This milk is sour.”(腐った牛乳)になります。従っていくら単語だけ覚えていても、用例を知っていないとうまく表現できません。リーディングをすることで、どのように単語が適切に使われているかを知るだけでなく、自然に英語の表現を身につけることができます。初めは、ペンギンリーダーズ(英語を母語としない人たちに書かれた本)の2か3から初めて、レベル4まで読めるようになると、自分に合ったもの(英字新聞、雑誌、洋書)を選ぶと良いでしょう。ペンギンリーダーズや洋書は6号館3階のマルチメディア自習室にあります。

### 2. 英英辞典の活用

実践的な英語を身につけるためには、従来の英和・和英辞書中心の英語学習はあまり効果的であるとは言えません。なぜなら、英和・和英辞書を使っているといつも日本語で考える癖がつき、その結果、言いたいこと・表現したいことがなかなか英語で思いつかなくなるためです。しかし、英英辞典を使い、英語だけでインプットしていく習慣を身につけると、とっさのときにでも自然な英語で表現できるようになります。

### 3. リスニング

リスニングがうまくなるためには、生の英語を聴く習慣をつける必要があります。DVDの映画やテレビ番組を英語字幕で見るのは非常に効果的です。英語字幕が難しいようであれば、最初に日本語字幕を見て、その後に英語字幕に切り替えると良いでしょう。DVDも6号館3階のマルチメディア自習室にあります。

海外のラジオ番組などを聞きたい場合は、<http://www.usliveradio.com> や <http://www.radiolocator.com> などをクリックするとアメリカの生のラジオ番組が聴けます。News, Rock, Top 40, Adult Contemporary, Jazzなどのラジオ局があります。

#### 4 . Podcast

iTune Storeをダウンロード（無料）して、Podcastを利用することができます。例えば、アメリカのiTune StoreのPodcastでは、ラジオ・テレビ番組を無料でダウンロードして、コンピュータ・iPodで視聴できます。例：Stuff You should Know(生活の知恵、雑学などの情報)Quick and Dirty Tips(健康、スピーチ、文法などのアドバイスでiPodでは聴きながらスクリプト(英語字幕)を見ることができます) Video Podcast：Larry King Live(有名な政治家、俳優、歌手などのインタビュー)日本のiTune Storeには、英会話、TOEFL・TOEIC対策やCNN Newsなどがあります。

大学時代は時間があっという間に過ぎるものです。上記のアドバイスを参考に、皆さんの英語が少しでも上達されるように願っています。

“Bend every effort toward reaching your goal!”

## ドイツ語能力向上に向けてのアドバイス

国際言語文化センター准教授 柳原初樹

「先生、是非ドイツに留学したいのです。」が、彼の開口一番の言葉でした。それは、昨年、入学式の直後のことで、その新生は、ドイツ語の授業が始まる前に研究室を訪ねて来て、そう語ったのです。

たまたま、彼は僕が担当予定の基礎ドイツ語の授業の受講生ということもあり、昨年一年間ドイツ語学習の指導を行いました。夏休み前に、すでに教科書は自分で最後まで読み終え、練習問題も自分で解き、付属のCDも何度も聞き、6号館5階のドイツ語学習指導室の参考書も3回読破していました。

さらに、6月にはドイツ語技能検定試験4級を合格、11月には3級を95点という高得点で合格しました。今年2月に行われた甲南大学と提携している、ドイツのフンボルト大学への留学生試験にも合格し、いよいよ今年9月からはドイツへ1年間の留学に出発！彼は、それに向けて日々、ドイツ語力の向上に邁進しています。彼の勉強方法をみなさん参考にしてください。以下は、彼に披露してもらった勉強方法です。

法学部2回生 桑野雄太

「私のドイツ語の勉強方法は、授業だけに頼るのではなく、自分で授業以外の参考書を買って、**先んじてドイツ語の学習をすることです。**」というのも、ドイツに留学するにはできるだけ高いドイツ語の能力が必要であり、更にそれを習得するためには、並みの意気込みでは上手くいかないと考えていたからです。

ドイツ語の能力の証明のため、またドイツ語学習の通過基準としてドイツ語の検定試験を利用し、それに向けて検定用の参考書を自分で買って、独学で勉強しました。**春には4級に、秋には3級に合格をすることができ、それは自分のドイツ語力の自信にも繋がりました。**

語学学習で必要となってくるのが、『読む』『書く』『聞く』『話す』の4つの項目です。その中でも特に習得しがたいと言われるのが、『聞く』『話す』の項目です。その『話す』・『聞く』の対策として、**チューター制度もよく利用しました。ドイツ人の留学生と実際に話すことができるので、ドイツ語の聞き取り・会話の訓練になりました。**また、NHKのドイツ語のテレビ番組やラジオ講座を見たり聞いたりして、ドイツ語のレベルアップに役立てました。さらに、学外のゲーティンステイトというドイツ語の語学講座にも通い、世界基準のドイツ語検定試験に向けての勉強もしました。ここでは、ほぼドイツ語だけで授業を進めるので、『聞く』『話す』の力を更に向上させることが出来ました。

しかし、まだまだ全体的なドイツ語の能力は足りないと感じており、**特に『聞く』『話す』の能力は今後も、今まで通りに継続して伸ばしていきたいと思います。**」(傍線 柳原)

桑野君の方法で下線を引いた部分は、要約すると 1) 授業に先んじて = 予習、さらには自分で積極的に進んでいくという探究心、2) 外部の検定試験にトライするチャレンジ精神と自信の確保、3) ドイツ人と直接コミュニケーションすること、4) 自分の弱点を知り、それを強化するという自己分析能力。

甲南大学では、外国語にチャレンジする人に対して、チューター制度や夏期海外語学講座などが用意されています。是非頑張って、有意義な学生生活を送ってください。

大学HP 研究所・センター 国際言語文化センター 科目紹介 ドイツ語学習コンテンツ  
国際言語文化センターのHPにはドイツ語学習のガイドラインや学習コンテンツも掲載されているので、是非クリックしてください。

[http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content\\_id=1](http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=1)

また、学生達のドイツ語・ドイツ文化サークル『甲南大学サバイバル研究会』のHPも訪問してください。

<http://www.ibws-npo.org/ksk/>

伴奏しているのが桑野君

ドイツ語強化合宿



ドイツ人の先生からクッキーづくりを学ぶ

## フランス語上達のために

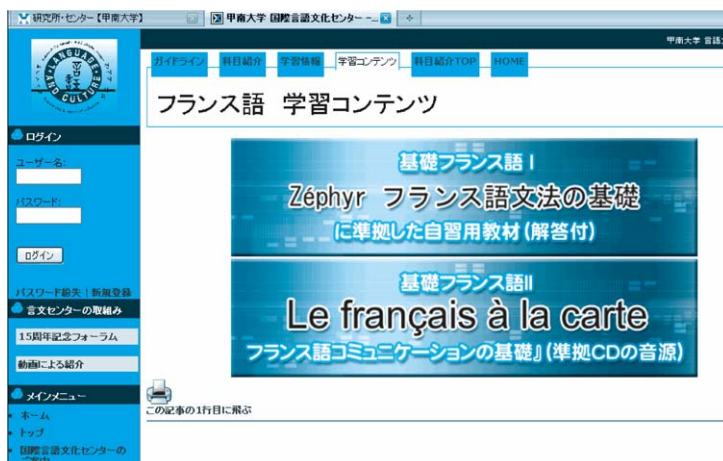
- 自律学習のすすめ -

国際言語文化センター准教授 デイディエ・シッシュ

フランス語能力を高めるためには、もちろん授業中の演習や宿題も大事ですが、インターネットを利用すれば、教室外でも学習の機会を増やすことが可能です。甲南大学国際言語文化センターのホームページで、「科目紹介・学習情報」を選び、「フランス語 学習コンテンツ」をクリックすれば、教科書に準拠した教材へアクセスできます。具体的には、「基礎フランス語」で学習する文法教材『Zéphyr フランス語文法の基礎』の自習用練習問題、「基礎フランス語」で利用するコミュニケーション教材「Le français à la carte」の音声データを自由に使うことができます。

甲南大学国際言語文化センターのHPに、まずアクセスしてみてください。

[http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content\\_id=2](http://www.kilc.konan-u.ac.jp/modules/kamoku/index.php?content_id=2)



また、インターネット上の様々なフランス語のHPを発見することで、フランスの文化に触れ、フランスの実際の風景などを見ながら、想像や視野を広げることでもできるでしょう。

「話す」「聞く」「読む」といった面でのコミュニケーション能力の上達を目指している人のために役立つサイトを紹介します。

基礎レベルの、発音やオーラル・コミュニケーション用演習には、

<http://www.podcastfrancaisfacile.com/debutant/>

というHPが非常に便利です。このサイトでは、自己紹介など簡単な内容についての音声を聴くことができます。

日本語の説明付き文法学習用サイトのアドレスは、

[http://text.asahipress.com/text-web/france/active\\_call/index.html](http://text.asahipress.com/text-web/france/active_call/index.html)

です。現代のフランス社会とフランス語についての簡単なテキストもあり、使いやすいです。このサイトは京都大学のチームによって作成されました。

他方、最近では、FLE (français langue étrangère : 外国語としてのフランス語) 関連のサイトが急増しています。

例えば、Le point du FLE : <http://www.lepointdufle.net/>

は、世界中の学校や大学で作成されたオンライン教材へのリンクを集めたサイトです。このサイトから、様々な学習サイトへアクセスできます。英語での説明もありますので、使いやすいはず。また、初級レベルから中級・上級レベルまで、ヒアリングの練習もあります。例えば、ある絵を描写する文を聞きながら、文中の空白に適切な単語を入れさせるものです。また、冠詞、動詞、形容詞に関する問題もあります。例えば、冠詞が消されたシャンソンの台詞を使って、そのシャンソンを聴きながら、空白に適切な冠詞を入れていきます。語彙を増やすためのクイズもいろいろあります。家族関係、都会での生活などといった、一定のテーマに関して、絵や写真を使った練習も多く見られます。

中級・上級レベルの学生には、フランス語の実力を測るサイトもあります。

フランス語でニュースを聴くなら、

RFI (Radio France Internationale : フランス国営ラジオの国際放送) のHP上で、Langue française (フランス語) をクリックすれば、学習に役立つ番組を利用することができます。

[http://www.rfi.fr/lffr/statiques/accueil\\_apprendre.asp](http://www.rfi.fr/lffr/statiques/accueil_apprendre.asp)

この中のJournal en français facile (「易しいフランス語」で聴くニュース) という番組は、学習効果が上がるように工夫されています。ニュースを聴きながら、同時に画面上でそのスクリプトも読めるので、理解できずに途方にくれる恐れがありません。また、Les mots de l'actualité (時事問題の言葉) という番組では、ニュースでよく使われる単語や表現を説明しています。Exercices d'écoute (ヒアリング演習) という番組では、ニュースの理解度をチェックするための簡単な質問も用意されています。

皆さんも、自分自身でいろいろなサイトを発見して自律学習に役立ててください。

## きっちり覚えて大胆に話す 中国語力向上のために

国際言語文化センター准教授 石井 康一

海外語学講座の学生を引率して行った先の西北大学で、長期留学中の日本人学生L君にたいへんお世話になりました。留学生宿舎の警備員や係員と親しく言葉を交わし、下町の庶民の食生活を熟知し、いろいろな店へ連れて行ってくれました。現地の生活に深く根を下ろし、その土地にとけこむ

彼の姿勢は尊敬に値するものでしたが、惜しむらくは肝心の中国語が発音も文法もいまいがんで、聞いていて首を傾げることが多かったのです。現地での生活には全く支障がないのですが、帰国後に中国語の力を評価されるかという点では、おそらく苦労することになると思います。留学すればすべてがうまくいくわけではありません。レベルアップのためには、正しい中国語をきっちり覚えることです。そのことによって、自分の話す中国語に発音面でも文法面でも一本筋が通るのです。日本にいても中国にいても明確な目的意識を持った学習が必要です。

インターネットで勉強するいくつかの手段を紹介しましょう。甲南大学国際言語文化センター胡金定教授の中国語学習サイト「胡金定 .com」(<http://www.kokintei.com/>)では、甲南大学で使用しているほとんどの教科書を音声付で読むことができます。NHKの中国語ニュース(<http://www.nhk.or.jp/nhkworld/chinese/top/index.html>、あるいはNHKオンライン<http://www.nhk.or.jp/>からニュース 外国語ニュース 中文をクリック)は、日本のニュースの中国語版ですので内容を理解しやすく、新聞で確認することもできます。NHKゴガクル(<http://gogakuru.com/chinese/index.html>)、アルクの中国語サイト(<http://www.alc.co.jp/china/>)も楽しく、勉強になります。中級レベルの人は、漢字の読みをピンインを通して覚えてしまうこと、そして漢字ネイティブであることを生かしてボキャブラリーを増やしていくことです。たとえば、**过guò**は動詞の後ろにつけて経験を表わす文字として最初は習いますが、**过=過**(日本語の字体)ですね。去过(行ったことがある)、过去(過去)、不过(でも)、过来(やってくる).....

話すときには間違いをおそれないということと、もう一つ、口を大きく躍動させるということを強調しておきます。中国映画「promise 无极」(2006 陳凱歌監督)に主演した真田広之が、もともと台詞はすべて中国人が吹き替える予定だったものを、役者の意地で中国語の猛特訓を受け、ついにはネイティブの発音として違和感がないとの評価を受け、真田本人の声の台詞が採用されました。彼は猛特訓の結果、口の周りに「中国語用の筋肉もついてきて、出なかった音も出るようになった」と述べています。日本語ネイティブの私達がいい中国語の発音をするためには、口の筋肉のトレーニングが不可欠だと私も感じています。

生きる勇気を与えてくれるような、いい芸術作品を通して中国語を学ぶのもいいですね。たとえば「园园的奇怪旅行(園園の不思議な旅)」(1985年、上海美術電影制片廠)は、17分の短編人形アニメ映画(动画片)です。子供向きの作品ですので中国語も聞き取りやすいです。「优酷网」(<http://www.youku.com/>)ではこの作品を含め、中国語のさまざまな映像作品を見ることができます。中国語字幕付のドラマなどは、リスニング勉強に最適だと思います。

学内では中国語チューター(日時は掲示板等を参照)を活用して下さい。教室でも大学でも自宅でもしっかりと中国語を勉強して、大胆に積極的に自分を表現していきましょう!



中国語を楽しく学ぶ「胡金定 .com」

# 韓国語の効果的学習を目指す学習者へ

国際言語文化センター准教授 金 泰 虎

「学問に王道はない」という諺がありますが、これは「学問をするのに安易な方法はない」や、「学ぶことに近道はない」という意味として理解されています。これと同じことが、韓国語の学習についても言えます。しかし、楽で簡単な方法はないものの、要領よく身につける「コツ」はあると思います。以下では、言語学習の一般論かも知れませんが、私なりに効果的な学習法だと考えていることを学習者の皆さんに紹介して、韓国語学習に活用してもらえたらと思います。

まず、とりわけ言語の学習においては、持続的な学習時間の配分が重要であると言えます。つまり毎日、欠かさず少しずつ勉強を重ねていくことです。例えば、極論ですが、週1回の学習で7時間勉強するよりは、毎日20分ずつ1週間、コツコツ勉強を積み重ねるのが効果的です。トータルの学習時間は前者が多いですが、実力を身につけるには、後者の時間配分法が的確だと思います。

親が赤ちゃんに「ママ」・「パパ」という単語を覚えさせるため、繰り返し発音して聞かせ、また赤ちゃんに発音するよう促す光景を見ても、言語の習得というのが決して生やさしいものではないことがわかります。我々は、いとも簡単に母語を身につけているかのように錯覚しがちですが、こんなに大変な繰り返しの過程を経て言語を習得しているのです。この赤ちゃんの学習法は、言語習得における4技能の中で「聞く」・「話す」の2技能の学習が中心になります。これは、文字は書けなくても聞き取れれば、身ぶり手振りでも意思疎通ができるのです。一方、「読む」・「書く」の2技能だけを目指している場合には、聞き取れなかったり、また話せなくても筆談で意思伝達は可能です。後者の2技能は、前者の2技能をベースにして、一般的に学校教育で達成されるものです。

ところで、大学における第2外国語としての韓国語の学習者は、だいたい20歳前後の人が多く、赤ちゃんの言語習得方法のように長い学習の時間をかけるのは難しく、意識を形成してからの言語学習なので「理屈的な学習」になります。そこには、色々暗記しなければならない事柄が発生してきますが、その際「語呂合わせ」・「音楽的なリズム感に合わせる」・「何かに喩える」などの方法を取り入れれば、比較的簡単に暗記ができ、効果的な学習に繋がると思います。

そして、もう一つ言語の学習に当たっては、学習用のテキストも重要です。良いと思って採択したテキストは、途中でやめることなく、最後まで貫く学習が望ましいです。インターネットサイトも頻繁に替えるのではなく、1つのサイトに絞って、それに基づいて学習したほうが良いと思います。なお、「聞き取り」を上達させるためには、教師の発音を聞く他に、カセットテープ、CD、DVD、インターネットサイトの活用などもあります。最近、日本のテレビでは韓国のドラマや映画を毎日のように放映しており、これらを見るのも良い韓国語学習に繋がるとは思います。吹き替えではなく、字幕付きがお勧めです。特に、今のグローバル化時代においては、日本に居ながらにして韓国語のネイティブに出会える機会も多いため、ネイティブから直接に音感を習得し、また訂正をしてもらうのも1つの良き学習法であると言えます。

最後に、何よりも失敗を恐れないタフな精神、つまり少々間違っても気にしない「図々しい」姿勢が言語学習には重要だと言えます。

# 留学生の先輩に学ぶ 外国語(日本語)を上達させる方法

日本語特任講師 森川 結花

一昔前までは、外国人が少しでも日本語を話せば日本人から「すごいね!」と賞賛されたものでした。しかし、今では日本語が話せる外国人が珍しくもなくなりました。また、日本語教育界でも今年3月、日本語学習者の能力評価の基準を示す「JF日本語教育スタンダード」が公開されるに至り、いよいよ「ただ単にしゃべれるだけではダメなのよ」と言われる時代に突入しました。日本語学習者が厳しく日本語能力を評価される時代が来たわけです。

では、どうやって本物の「日本語の達人」となるべく学習していったらいいのか? その具体的な上達法を、先輩留学生の実践からご紹介します。

## 他の外国語も学ぶ

確かに日本語は外国語として習得するまでに時間のかかる言語です。特に非漢字文化圏学習者にとっては……。しかし、他の外国語の習得で苦労した経験を持っている留学生は、「もっと難しい言語だってある」と冷静です。彼らは日本語と他の言語との比較をし、日本語学習での力の入れ所を知るようです。また、日本語力をベースに中国語、韓国語へと手を伸ばしていく人もいます。そこでもやはり言語間の比較ができるとともに、言葉の世界が広がる喜びも得られ、日本語学習にプラスになるようです。

## 「これは何かな?」精神を持つ

広告パンフレットの実物から情報を読み取る練習中、裏側までめくって「何かな?」と首をひねっていた留学生が一人……。それが「達人道」の歩き方でした。車内広告、お菓子の箱の裏側、TVのCM、何からでも新しい発見があり、鮮烈な印象とともに知識を増やして行くのです。

## とにかく詳細に表現する

辞書なしで使える言葉の範囲で出来る限り詳細に表現することも「達人道」の歩き方です。例えば、単に「寂しかった」じゃなくて、「一人ぼっちで昼ご飯を食べました。涙が出て来て前が見えませんでした」のように。こんな練習は作文練習としてするのが確実です。「人は書くように話す」と言われていますが、確かに正確で豊かな表現を使った文章を書くように心がけていると、自然に話す技能も向上してきます。

## 「ちょっと先輩」をモデルにする

「兄が日本語をやっていたので僕も」と言っていたある留学生。彼のように誰かお手本となる先輩を見つけて真似をするのが達人道を迷わず歩くコツです。「ネイティブのようになりたい」というのではゴール設定として無理があります。それよりも「自分よりちょっと先輩」を参考にさせてもらうのです。先輩から学べることは現実的だし、自分も素直な気持ちですぐに実践できます。

## 上達のスピードを他人と競わない

マイペースを貫く人が必ず最後に笑います。切磋琢磨の刺激もある程度必要ですが、母語でも言語発達には個人差があります。ましてや外国語となれば、多少時間がかかって当然。器用にする上手になっていくライバルが気になるかもしれませんが、そこで心を乱しているのは得策ではありません。自分なりに地道に勉強し続けて、最後に笑っていた先輩留学生たち。彼らの笑顔は本物でした。

以上、外国語学習の参考にさせていただければ幸いです。